

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道299号 <small>ほんごう</small> 本郷バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長野県	
起終点	自：長野県佐久町三味脇 至：長野県佐久町刈又	延長	5.2 km			
事業概要	一般国道299号は、長野県茅野市から埼玉県入間市に至る延長約189kmの幹線道路であり、当地区においては、沿線の集落を結ぶ生活道路である。本郷バイパスは、幅員狭小、線形不良部分の解消を目的とした延長5.2kmの2車線道路である。					
S57年度事業化	都市計画決定 なし	S57年度用地着手	S60年度工事着手			
全体事業費	約51億円	事業進捗率	73%	供用済延長	2.9km	
計画交通量	2,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 1.8	総費用 (残事業)/事業全体 12/13億円 (事業費：11/12億円) (維持管理費：1/1億円)	総便益 (残事業)/事業全体 21/21億円 (走行時間短縮便益：21/21億円) (走行費用減少便益：1/1億円) (交通事故減少便益：0/0億円)	基準年 平成15年		
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保（利便性の向上が期待できるバス路線） ・暮らし（二次医療施設へのアクセス向上） 他2項目に該当（定量的評価項目を除く）					
関係する地方公共団体等の意見	佐久町を含む関係1市2町1村の首長等で構成する国道299号整備期成同盟会より早期完成の要望（平成15年10月23日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	バイパス整備済み区間は、現道より通過交通が排除され集落内の安全が確保された。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに2.9kmが供用済み。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地買収はほぼ完了。残り区間の内1.3kmも16年度中に供用予定。平成19年度全線開通予定である。					
施設の構造や工法の変更等	歩道計画の見直しにより、コスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、残区間を整備することにより、当初の目的が達成されると考えられる。					
事業概要図						

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。